

穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.17]

令和4年1月28日(金)

発行責任者 校長 加藤康徳

「春節が始まります。」

春節が始まります。日本人学校の休みは1月29日(土)から2月6日(日)までとなっております。今年の春節は4月に赴任してきた私にとっては初めての春節です。最近では街中で「福」あるいは、「𠂔」と書かれた飾り物を家の門や壁などに見かけるようになりました。(学校の中にも飾られています。)ただ、「福」は分かるとして、なぜこの字を「𠂔」と逆さまにするのかが分かりませんでした。調べたところ「倒」と「到」の発音が同じことから、「倒福(福が逆さま)」=「到福(福が訪れる)」の意味を表すのだそうです。日頃から子ども達に「視点を変えて物事を見ることが大切だよ」と言っている自分が、今回は一番勉強させられました。でも、それぞれの家で「福」や「𠂔」と貼り方が違うのは誰がどのような理由で決めているのでしょうか。疑問は尽きることがありません。

「つながりを実感させる活動の紹介」

<学校経営のスローガン>

「つながり」を「未来に実感」させる
広州日本人学校の創造

第2回英語検定(1次)

・今年度最後の英語検定を実施しました。42名の児童生徒が自分の英語力をはかるためにそれぞれの受験級に挑戦しました。(1/21)
※2次試験は2/20です。



キッズタイム(長縄跳び)

・小学部の児童が学年を越えてチームを作り、長縄跳びにチャレンジしました。(1/19)

<大切にしているつながり>

- ②授業とのつながり
- ③友だちとのつながり
- ④保護者・日本人社会とのつながり



工場見学は中止となりましたが・・・。

・3年生による明治アイスの工場見学は、新型コロナウイルスの関係で今年は中止となりました。そのことを残念に思われた明治アイスの工場の方から「皆様で食べてください」ということでアイスとお菓子が3年生に届けられました。ありがとうございました。(1/26)



お知らせです！

学校キャラクター決定！！

広州日本人学校の学校キャラクターが決まりました。その名も「ほーやん」です。児童生徒会が中心になり、9月から5か月の時間をかけて進めてきた一大企画でした。9月に全校児童生徒に募集をかけてから、10月から選考開始、11月に投票、12月にキャラクターの発表、その後さらに名前の募集、投票、決定…というプロセスを経て、堂々の誕生です。作成の目的は、以下の2点です。

- ①学校キャラクターの存在により児童生徒の一体感を醸成し、学校生活をより充実させるため。
- ②学校キャラクターを日々の活動や行事などで活用することによって、児童生徒・教員・保護者をつなぐ象徴的な存在とし、愛校心を高めるため。

実際に、募集の段階から子供たちの参画意識はとて高く、キャラクターデザインが71通、名前は68通の応募がありました。投票候補が掲示されるとすぐに掲示板の前に集まって、話に興じる姿が見られました。

先日の代表委員会（児童生徒会役員と各委員会委員長による会議）では、学校キャラクターの活用方法に関して活発な意見交換がなされました。ポスターを作る、お昼の放送に登場させる、など、これから学校生活の中の数多くの場面で登場してくれそうです。

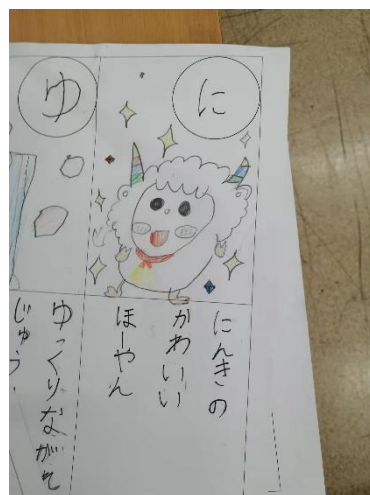
すでに、学級で「ほーやんお絵描きコンテスト」を実施した学級もあります。2年生が生活科でカルタを作った際にも、カルタに登場してくれました。児童生徒と一緒に学校生活を楽しくしてくれることを楽しみにしています。



「ほーやん」原案者 5年2組 光永花さん

↑AAA ほーやん

「AAA」は児童生徒会の学校スローガンです。「安全・あいさつ・明るい笑顔」の頭文字を取っています。ほーやんのどこに3つのAが隠れているでしょう！？



2年2組 渡邊樹くんの作品